※令和４年度以降入学生用

学校番号	216

令和５年度　芸術科

教科	音楽	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「MOUSA２」　（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「音楽 II」では、「音楽 I」の学習経験を基盤として、みなさんが音楽を永続的に愛好する心情を　育むとともに、生涯にわたって豊かな音楽活動をしていくために必要となる知識や技能を確実に身につけてほしいと願います。そのためにみなさん自らが感性を働かせて思考・判断しながら個性豊かに表現できるような場の設定や、知覚したことと感受したことの関わりについて考え、理解したことを根拠として批評するなど、より主体的に音楽と関わりながら演奏し鑑賞する場の設定を工夫します。

2　学習の到達目標

(1)音楽 I の学習経験を基盤として質的に高めた音楽の諸活動を通して音楽的な見方・考え方を働かせながら、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化とより深く関わる資質・能力を育成する。
(2)個性豊かな音楽表現を創意工夫できるようにするために、必要となる技能を身に付け高めることができるようにする。
(3)主体的・協働的な音楽活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，音や音楽のよさや美しさなどを自ら進んで感じ取ろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。（知識） ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽創作で表している。（技能）	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	歌唱	「Alleluja」 「ヴォイス・トレーニング」 「糸」 「ハナミズキ」 「浜辺の歌」 「からたちの花」	a:様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 （知識） 　創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身につけ、歌唱で表している。（技能） B:音色，リズム，旋律，テクスチュアを知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに歌唱表現を創意工夫している。 c:なじみのある J-POP の歌を，歌詞の内容や作詞者・作曲者のメッセージを考えながら二部合唱で歌うことに関心をもち，主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技課題	ワークシート 実技課題	ワークシート 授業観察
	リズムアンサンブルを楽しもう	Hit the Beat 「情熱大陸」 「ボレロ」 「千本桜」	a:リズム譜を読譜できるようになり、表現したいことを伝える。 　積極的にソルフェージュ能力を身に付け、表現したいことを伝えるための技能を習得する。 b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その動きを感受しながら、どのように音楽を作るかについて表現意図を持っている。 c:アンサンブルに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 実技課題	ワークシート 実技課題	ワークシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

2	リコーダー演奏	「夏は来りぬ」 「冬」 「ソナチネ」	a:曲想と楽器の音色や奏法との関わり，様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 （知識） 　曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能，他者との調和を意識して演奏する技能，表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け，器楽で表している。（技能） b:音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，自己のイメージをもってどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 c:リコーダーの奏法を身に付けることや技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらア２ンサンブル活動をすることに関心をもち，音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技課題	ワークシート 実技課題	ワークシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

	ギター演奏	「天体観測」 「愛のロマンス」	a:曲想とギターの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。（知識） 　創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能を身に付け，器楽で表している。（技能） b:音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c:曲想とギターの音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果に関心をもち，主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技課題	ワークシート 実技課題	ワークシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

	文化的・歴史的背景を理解して，日本の伝統音楽や世界の様々な音楽の魅力を知ろう。	器楽：三線 「涙そうそう」 「島唄」 鑑賞 ・和楽器の調べ。 ・アジアの様々な音楽 ・世界の音楽、楽器の音楽	a:曲想と楽器の音色や奏法との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国の郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。（知識：器楽） 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり，音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり，我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めている。（知識：鑑賞） 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な，曲にふさわしい奏法，身体の使い方などの技能を身に付け，器楽で表している。（技能） b:音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに器楽表現を創意工夫している。（器楽） 音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，構成を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに，曲や演奏に対する評価とその根拠，音楽表現の共通性や固有性について考え，音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。（鑑賞） c:和楽器の音色や奏法の特徴を感じ取ることや，諸民族の楽器と日本の楽器との比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性，共通性を考えることに関心をもち，主体的・協働的に器楽や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技課題	ワークシート 実技課題	ワークシート 授業観察

※令和４年度以降入学生用

3	アンサンブル発表会及び演奏の鑑賞	・必修曲 「上を向いて歩こう」（ヴォイスアンサンブル） 「シンコペーテッド・クロック」（器楽アンサンブル） ・選択曲 担当者が提示した曲から選ぶ 「クリスマス・イブ」 「いつも何度でも」 「ミックス・ナッツ」 等	a:音楽Ⅱの１年間の学習における表現や鑑賞の知識に関する諸事項について理解している。（知識） 音楽Ⅱの１年間の学習における技能に関する諸事項を身に付け，歌唱や器楽，創作で表している。 （技能） b:音色，リズム，速度，旋律，テクスチュア，強弱，形式，構成などを知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考え，個性豊かに歌唱や器楽表現を創意工夫している。 c:１年間の音楽学習のまとめとして発表会を企画実施することに関心をもち，主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 実技課題	ワークシート 実技課題	ワークシート 授業観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度